

ペット飼養問題検証委員会だより

平成 28 年 4 月

発行：県ドリームハイツ

ペット飼養問題検証委員会

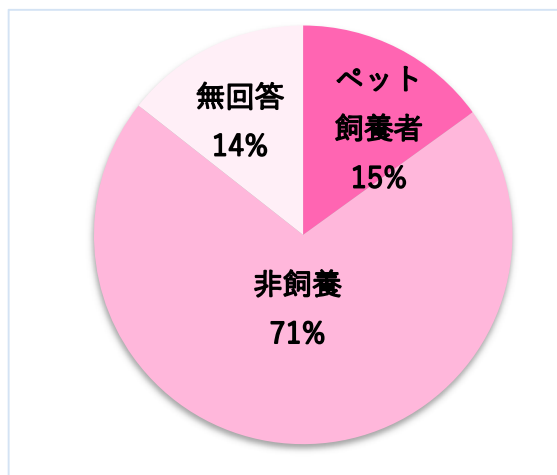
第 1 号



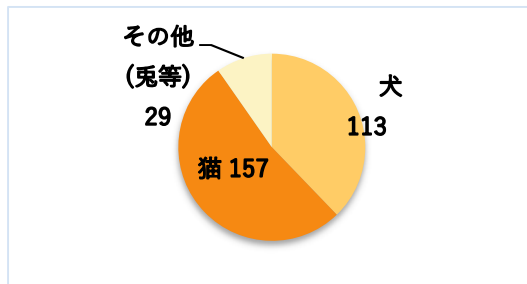
ペット飼養実態調査結果



ペット飼養問題検証委員会は、県ドリームハイツ管理組合および自治会から委嘱され「ペット飼養問題」の解決の糸口を見出すために設置された第三者機関です。当委員会では、H28年1月に実態調査アンケートを実施いたしました。その結果を報告いたします。(詳細は全戸配布済み)



アンケートでは自治会把握全世帯数の約 86%からの回答がありました。全世帯数 1,431 世帯の内、ペット飼養者は 214 世帯あり、動物の種類は以下の通りとなりました。頭数は、多頭飼いの家もあるので軒数とは一致しません。



・飼養者への苦情のご意見で最も多かったのは、マナーの悪さに対する不満や苦情でした。その中でも、糞尿などの排せつ物不始末に対するものが最も多く、エレベーター使用、鳴き声、臭い、抜け毛、リードの長さ、野良猫への餌やり等への苦情も多くありました。

・ペット飼養は規則違反ということを再認識してほしいという反発不満や、アレルギーの健康面から飼養を絶対に認めるべきではないという意見もありました。

・マナーを守るという限定つきも含めると、ペット飼養容認の意見も少なからず見られました。他にも、この委員会の在り方に対する疑問や飼養のための設備対策など様々な意見がありました。

ハイツ当初よりペット飼養禁止という規則の中でも、ペットを飼う人は減っていません。しかしマナーに関しては低下しているように感じられます。

当委員会としては、禁止にこだわるだけではなく

お互いが暮らしやすい方法を探る為に

活動をしていきたいと考えます。

